

NFAアクションプラン2022→2026	全体	頁中の頁 地区協会 第4種委員会 連盟
1. 現状の概要と今後の方向性		
<p>○4種12歳以下は、フットボール文化に最初に触れる年代であり、新たなプレーヤーの創出かつ保護者・家族ぐるみのサッカーファミリー拡大の為の重大なポイントである。</p> <p>○しかし、今後子供の数は減少傾向にあり、またスポーツをする子供の数も減少してきており、これからも増加傾向に推移するかどうかは非常に厳しい状況であると言わざるを得ない。</p> <p>○2015年度から女子U-12選手が4種登録となり7年。サッカーというスポーツの浸透においては着実に成果は出てきており、維持・拡大の意味では良い方向へ進んでいると感じている。今後キッズ委員会・女子委員会と連携し、低学年の普及を推進していくとともに、U-9・U-8・U-6の大会実施を実現していく。</p> <p>○競技レベルにおいては、全日本少年大会の結果をみると、2022年度、1勝2敗と決勝トーナメント進出は叶わなかった。その他大会においては、さまざまな全国レベルの大会で優勝・ベスト4以上の結果を出すチームが増えてきている。</p> <p>○ジュニア年代の強化は堅実かつ確実に進んでいる。トレセン活動においても北信越で新潟県選出の選手の活躍は目覚ましいものがある。今後とも常に県全体のレベルアップ底上げを図り、引き続き、全国大会ベスト4以上、そして優勝を狙えるチームを目標に活動を継続していく。</p> <p>これまでの中期目標であった2022年目標の対しての達成度や現状、今後の長中期目標に対しての現状の概要、今後の大まかな方向性などについて書いて下さい</p>		

NFAアクションプラン2022→2026	全体	頁中の頁 地区協会 第4種委員会 連盟
2. 中期目標(2030年)		
<p>○4種登録者数が8,000人(内1,500人は女子)となる。登録数×3=サッカーファミリー数(24,000人)サッカーファミリー目標120,000人の2割を実現する。</p> <p>○4種女子の大会を充実し、さらに3種・キッズとの連携を進め、4種女子の登録人数が1,000人とする。</p> <p>○3年生以下の交流試合・新全試合が地区・ブロック内などで開催・継続していく。</p> <p>○地区協会と連携し、地区・ブロック内のリーグを開催し続け、学年ごとのリーグ戦が継続して開催される。</p> <p>○全国あるいは全国レベルの大会にベスト4以上入る・優勝する。</p> <p>○国際少年サッカー大会・交流試合を開催する。</p>		

NFAアクションプラン2022→2026	全体	頁中の頁 地区協会 第4種委員会 連盟
3. 長期目標(2050年)		
<p>○4種登録者数が10,000人(内女子3,000人)となる。登録数×3=サッカーファミリー数(30,000人)サッカーファミリー目標150,000人の2割を実現する。</p> <p>○4種女子の大会を充実し、さらに3種・キッズとの連携を進め、4種女子の登録者数が3,000人となる。</p> <p>○3年生以下の交流試合・新全試合が地区・ブロック内などで開催・継続していく。</p> <p>○地区協会と連携し、地区・ブロック内のリーグを開催し続け、学年ごとのリーグ戦が継続して開催される。</p> <p>○全国あるいは全国レベルの大会にベスト4以上入る・優勝し続ける。</p> <p>○国際少年サッカー大会・交流試合を充実開催し続ける。</p>		

NFAアクションプラン2022→2026				全体 頁中の 頁	
4. 現状分析				地区協会 第4種委員会 連盟	
No. と 事項	2026年具体的目標	2022年における現状	達成度	目標達成へ向けての課題	改善の方策
1. 普及	登録者数 U-12 5000名 (内 4種女子500名)	登録者数 4136名	90%	登録者数は年々少しずつだが減少傾向である。低学年・女子のプレーヤー創出を目指す必要がある。	女子U-12のイベントの継続して実施。キッズ(U-8)のイベントの開催頻度を増やし実施する。
2. 強化	全国大会ベスト8	全日本少年サッカー大会 予選リーグ敗退	0%	北信越5県中においては、常に優勝を目指す・できるレベルにある。全国レベルでベスト8以上の結果を目指している。	特定のクラブ団体だけでなく、リーグ戦文化の醸成やサッカー文化の更なる浸透・発展を基礎として全体のレベルアップを目指す。
6. 普及と強化	国際少年サッカー大会の実施	未実施	0%	教科書問題・歴史認識問題など政治的デリケートな障壁があり、なかなか前進できていない。	韓国・中国以外のアジアの国々やその他地域と国際交流の可能性を探っていく。
事項番号と見出し	事項の中の具体的な目標 明確に、可能であれば数値で	2026年目標に向けての2022年での現状 達成度の%表記を右欄へ記入→	%表記	目標達成のために解決すべき課題	課題を解決、改善のための方策の概要

5. 具体的アクション

地区協会
第4種委員会
連盟

No.	誰が	いつ・いつまでに	どこで	何を	どのように
	第4種委員会が	各年度毎に	委員会内で	チーム登録数と登録選手を	把握・各地区毎の推移については委員会内で、情報共有する。
	各チーム指導	各年度毎に	各地区において	練習や試合を	計画的に実施・チーム強化を図る
	第4種委員会が	2026年までに	県内実施可能な地区(ブロック)で	国際大会・交流会を	開催できるように、情報収集、情報発信して、実現できるようにする。

↑現状分析での事項No.に対応。複数の事項にまたがって、一つの事業で対応することも可能です